

## 秋季研究会 第2分科会

(研究の柱) チームマネジメントと教育予算

分科会テーマ

こんなとき、どうする！？

～ゲームを通じてチームマネジメントを考えよう～

担当：第2ブロック

### 1 目的

不測の事態が訪れたとき、リソース（資源）を見つけ出して問題を解決し、目標を達成する力を養う。

### 2 内容

令和2年7月17日に文部科学省より「事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例等の送付について(通知)」が都道府県・指定都市教育委員会に発令された。この通知を永平寺町内の事務職員間で読み合わせたところ、これからの事務職員として、不測の事態が訪れたときにリソース（資源）を見つけ出して問題を解決し、目標を達成する能力が必要なのではないかと考えた。その能力を養うためのグループワークとして「こんなとき」どうするゲームを行った。

#### ・日程 12月10日(木)

- 15:30-15:40 グループワークの流れ説明
- 15:40-16:10 ワークシート作成（グループ）
- 16:10-16:20 各班発表
- 16:20-16:40 ワークシート作成（個人）
- 16:40-16:50 班内で発表



#### ・グループワーク（3人×3グループ）

ワークシートをベースに、まず「こんなとき」というテーマに対して、目標を設定した。目標を達成するのに必要なリソース「ヒト・モノ・カネ」にどのようなものがあるか、付箋を使って貼り付けていった（ヒトはピンク、モノは緑、カネは青といったように色分けした付箋を使用した）。そして、出てきたリソースを組み合わせ、目標達成するための具体的な取り組みを考えていった。また実際に取り組ん

でいく中で発生するであろう課題や解決方法を考えていった。1回目はグループで、2回目は各個人でワークシートの作成を行った。

<1回目>

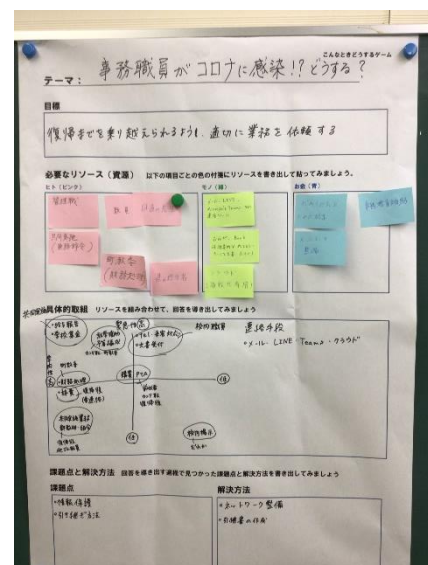
【テーマ】

自身が新型コロナウイルスに感染……。2週間の自宅待機。

誰に何を願います？

【発表の内容】

マトリックス分析や県の仕事や町の仕事など仕事ごとに業務を分け、適切に依頼するという意見や、永平寺町に今年導入されたiPadを利用し、在宅勤務できるようにするという意見がでた。



<2回目>

2回目は個人で班ごとに決められたテーマで考え、班内で発表しあった。

1班

【テーマ】

学年主任より、近隣校と同じように諸用紙をすべて公費で購入し、保護者負担をなくすことはできないかと相談された。試算するとなんとかできそう…。しかし、学年によって購入数や紙の種類がバラバラ…。どうすればいい？

【発表の内容】

規模の差はあれ学校間で差があるのはよくない。公費負担が理想。学校予算の執行状況を緻密に管理する。資料等のヘーパーレス化を進め、用紙は統一、反古紙の活用等、紙の使用のルールを決める。紙以外の消耗品の共同購入を増やす。管理職や学年主任に節約を呼びかけてもらう。などの意見が出た。

## 2 班

### 【テーマ】

冬季、インフルエンザ+コロナウイルスによる欠席連絡で電話回線がパンクしそう。保護者からも繋がらないと不満が。どうする？

### 【発表の内容】

電話回線パンクの対策として、「インターネットを使用して欠席の状況を保護者に送信してもらう」や「ポストに医療機関からもらった受診表を入れておいてもらう」といった意見がでた。少し準備することで今シーズンにも実施できそうな対策がたくさん出た。

## 3 班

### 【テーマ】

外部とのネットワークがケーブルの破損で2週間使えなくなり、電話とFAXしか使えなくなった。教育委員会から指示はなし…。もうすぐ月末。どうする？

### 【発表の内容】

県への報告はOffice365を使用して作成。メールで県へ送付。クラウドを利用する。財務は近隣学校PCや役場PCを借りて処理する。その際情報漏洩に注意するとの意見が出た。

## 3 まとめ

想定より時間がかかってしまい、最後が駆け足になってしまったことが反省点だが、限られた時間を各自が意識することで集中して取り組むことができた。

同じテーマでも個人によって考え方や解決の方法が異なり、それらを共有できたことで新たな視点を得ることができた。

今回はテーマが「チームマネジメントと教育予算」だったため、学校全体に関わるトラブルや予算に関わるトラブルを中心に扱ったが、テーマが違えばまた別の「こんなとき」を想定したゲームを行えると思う。

今回の研修を糧に、学校で日々訪れる「どうする！？」といったシーンに、積極的に関わり解決できる、チームマネジメント力と専門知識を兼ね備えた事務職員を目指していきたい。